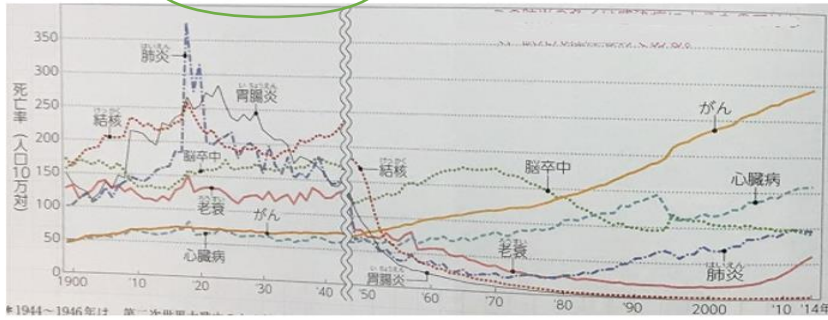


保健体育プリント 学習の進め方

1. プリントに記載されてある教科書のページを開く ここでは、86・87ページになります。

健康の成り立ち 教科書 P86～87



左図を見て1940年頃と2010年頃を比べて増えた病気，減った病気をあげてみましょう。

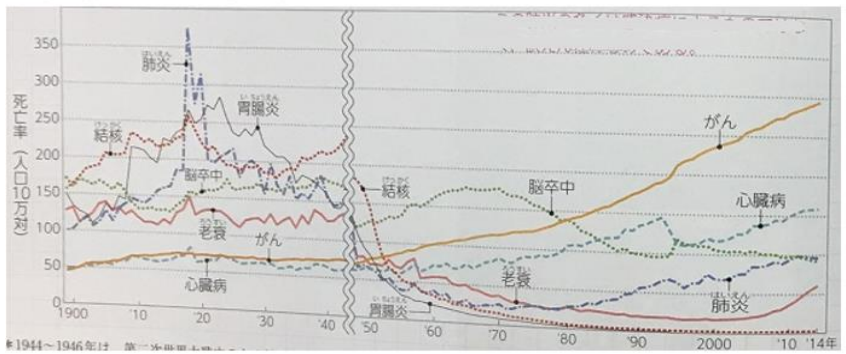
増えた病気 _____

減った病気 _____

2. 教科書を見ながら，プリントをやります。

1については，自分の考えを書いていきましょう。グラフを見て見つけたことを書く

健康の成り立ち 教科書 P86～87



左図を見て1940年頃と2010年頃を比べて増えた病気，減った病気をあげてみましょう。

増えた病気 がん

心臓病 脳卒中

減った病気 肺炎

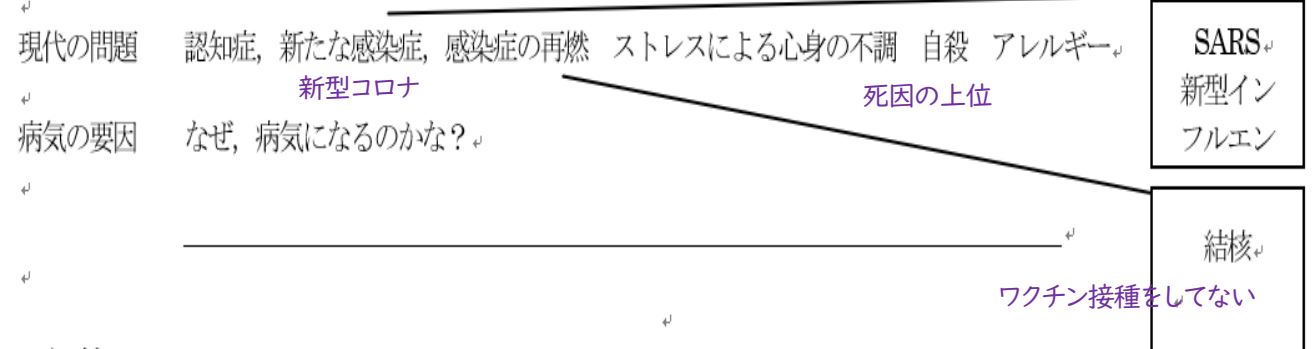
結核

3. 大切な所にマーカーを引く。教科書を読んだり，ネット等で調べたことをメモ書きします。

減った病気 人にうつる 結核や，肺炎などの 感染症 要因 栄養 生活環境の改善 保健医療水準の向上

生活習慣から起こる 以前は成人病とよばれていた 結核 BCG 接種 栄養素を摂取 医療の発達

増えた病気 生活習慣病 がん 心臓病，脳卒中 要因 食生活の変化，運動不足，栄養過多，偏食，機械化，交通発達



4. 学習したら、プリントの下にある問題を解いて答え合わせをします。

間違えたところは、メモ書きするなどしましょう。

1 次の文の () の中にあてはまる語句をあとから選び、記号で答えなさい。

病気には、その人自身のことである (**オ**) の要因と、それを取り巻く周囲の状態である (**カ**) の要因が絡み合っている。①の要因には、性や (**ア**)、免疫などがあり、②の要因には、(**ウ**) などの、物理・化学的環境や、(**エ**) などの生物学的環境のほか、(**イ**) などの社会的環境もある。

細菌は、生物 保健医療は社会

ア 年齢	イ 細菌	ウ 湿度	エ 保健・医療制度
オ 主体	カ 環境		

2 次の各文が正しいければ○を、誤っていれば×をかきなさい。

○ ① 人間関係も、病気の環境の要因となりうる。

○ ② 主体の要因は、すべて生まれつきそなわっているものである。

食事などの生活習慣によって変わる

5. 提出日&提出物

次回分散登校日 3年生 5月18日, 2年生 5月20日, 1年生 5月20日

体育理論 のプリント 保健のプリント

6. 次回の宿題 & 渡す日

保健のプリント 次回分散登校日

7. 神辺西中ホームページに筋トレやストレッチも紹介しています。

家でできるものなので、積極的に取り組んでみてください。